



SOCIETY FOR TECHNICAL COMMUNICATION

ドキュメントソリューション公開コンペ第2弾 日本企業が抱えるドキュメント制作の課題に挑む 課題



2008.6.27

STC 東京支部

[Http://www.stctokyo.org](http://www.stctokyo.org)

制作環境

製造メーカー(日本企業)でのマニュアル制作

- 言語: フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、中国語(簡体、繁体)、韓国語。→FIGSCCK
- 書き起し: 日本語と英語。その後多言語展開
- DTP: FrameMaker または inDesign

日本語版マニュアルの制作状況

- 開発技術者が執筆
- 特定のスタイルガイド、用語集なし
- 執筆時、英語への翻訳や多言語展開は特に意識していない

- 悩み: 「ライティングのプロ」ではないため、日本語としての読みやすさ、読み手を問わないわかりやすさという点で改善の余地あり

英語版マニュアルの制作状況 1

製品によって 1.日本語版からの翻訳、または 2.英語からの書起こし

1. 日本語版からの翻訳

- 日本語版マニュアルをそのまま翻訳ベンダーへ翻訳出し
- UK English 指定
- ネイティブ翻訳者を希望してはいるが、実際には日本人翻訳者とネイティブチェッカーという組み合わせもあり
- 翻訳納品後にネイティブチェックを入れ、必要に応じて翻訳ベンダーにフィードバック、修正反映後再納品
- 参照用の UI リストと用語集(xls)はあるが、スタイルガイドはなし。
- 悩み: 日本語版(ソース)に対する翻訳者からの質問が多く(意味がとれない、主語が不明、矛盾・不統一がある、など)、翻訳の品質や生産性に少なからず影響している

英語版マニュアルの制作状況 2

2. 英語版からの翻訳

- 日本語版マニュアルとは別の開発技術者(日本人、英語ノンネイティブ)が執筆
- 翻訳ベンダーに提供したのと同じ UI リストと用語集(xls)を参照
- スタイルガイドなし。
- ネイティブチェックが入るが、「英語らしい英語」、「読みやすさ」などの観点で手を入れる時間がないため、主にスペル、文法などのチェックのみ入れて完成
- 多言語への翻訳に際しての具体的な方針や指示はなく、翻訳ベンダーから質問があれば都度対応している
- 悩み: 品質、プロセスの部分で満足はしていない

英語から多言語への展開

- 「原文が原因と思われる問題」が発生している
- スペルミス、用語の不統一、同一の内容に異なる表現が使われている
- 執筆者(翻訳者)ごとに異なるスタイルやトーンになっている、など)

ご提案いただくソリューション

- 特定の問題点にスポットを当てる
- 問題点とソリューションの選択・組み合わせは自由
(複数選択も可)
- 具体案を提示する
- どの問題に対してのソリューションか、発表の冒頭
で言明してください

確認

- 3社のソリューションが、部分的にでも参加者が抱えている問題に対する解決のきっかけになることが理想です。
- 「公開コンペ」ですが、優劣を競うものではありませんので、判定は行いません。